



フリーデアから季節ごとにお届けする『住まいのお手入れ便り』です



フリーデア便り ～2017春号～



シャガ(著莖)を見かけました。(アヤメ属アヤメ科)

毎年この時期に森林近くの民家の庭先などで咲いています。先日も飯能の多峯主(とおのす)山を登った際に見かけました。森林周辺の木陰などの、やや湿ったところに群生するそうです。日本古来のものかと思っていましたが、中国原産でかなり古くに入ってきた帰化植物だそうです。人為的に植えられたものがほとんどなので林の中ひっそりと咲いていてもかつては人が住んでいた場所の可能性が高いそうです。

住まいの
お手入れ便り

『夏を迎える前に』



● 湿度が高くなる前に

- ・畳のお掃除 畳が汚れたままでそこに高い湿度という条件が加わるとカビを発生させてしまいます
- ・お風呂のカビ取り 梅雨の前に今のカビをできるだけ取りましょう。
お酢を4～5倍に水で薄めた液を用意し、カビの生えたところに霧状にスプレーして古い歯ブラシなどでこすります。それでも落ちが悪ければ、重曹をかけ、しばらくおいてからブラシでこすります。
- ・押入れの湿気対策 まず**風が通る**ようにするのが効果的なので、すのこが有効です。底面だけでなく、奥の壁、横の壁にもすのこを立てかけるようにして使えば、さらに風が通るようになります。

● 早めの準備が大切！！

- ・グリーンカーテン **真夏の日除け**として活躍させるには今から準備が必要です。
グリーンカーテンは陽を遮るだけではありません。植物の葉には「蒸散(じょうさん)」と呼ばれる「葉の表面から水分を蒸発させ、**熱を奪う働き**」があります。(いわゆる気化熱)
そのため葉の周囲は気温より2～3度くらい低くなるのです。取り入れたいですね。
- ・草取り 5月も半ばを過ぎてから梅雨を経て夏までは、気温も上昇し植物にとって絶好の生育期。
特に梅雨時は、ほとんどの植物には最高の環境。ぐんぐん成長するので早めに対策を。
- ・樋の点検 普段はあまり注意が向かない雨樋ですが、建物を守るために大切な役割を担っています。
雨樋がうまく機能しないと、外壁に雨水がかかったり、あふれた雨水が地面に当たって跳ね返り基礎周辺を水浸しにしたり、**建物の寿命を縮めてしまう**ことになります。
落ち葉などが詰まっていないか、樋受け金具が緩んだり外れていないか確認しましょう。
- ・エアコンの掃除 うっかりするとエアコンはカビをまき散らす元になります。エアコンを使う前に、外部や中のフィルターだけでなく、内部の金属部分のクリーニングもしておきましょう。

お住まいのお手入れ方法や収納のお悩みなど**住宅に関することならフリーデア桃田雅恵**までお問い合わせください。
フリーダイヤル : 0120-81-3305 まで



●間違ったLED電球の取替えで火災の危険が！！

◆低消費電力で長寿命であることから、住宅にも広く普及しているLED照明で火災が相次いでいます。

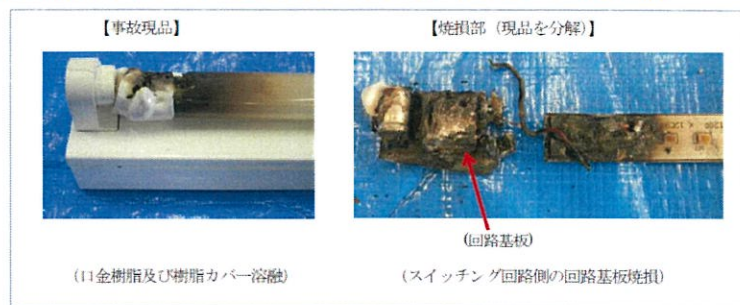
火災になったのは

直管型蛍光灯に直管型LEDランプが取付けられていた場合で、内部の部品に過電圧が加わって過電流が流れ込み部品が過熱して出火しています。

※すべてのLED電球にはあてはまる訳ではありません。

以前から東京消防庁などが注意を呼び掛けていました

[右の写真は東京消防庁HPより]



直管型LEDランプは、一部のホームセンターやネット販売で手に入りますが、注意事項に関してはあまり説明されないため、知らずに取り付けている場合が多いのです。

従来の蛍光灯と同じ口金である「G13口金」を採用している直管型LEDランプに交換する際は既設の蛍光灯照明器具と適合する直管型LEDランプであるかをよく確認してから設置する必要があります。

(詳しくは、『日本照明工業会』や『東京消防庁』のホームページでも確認できます)

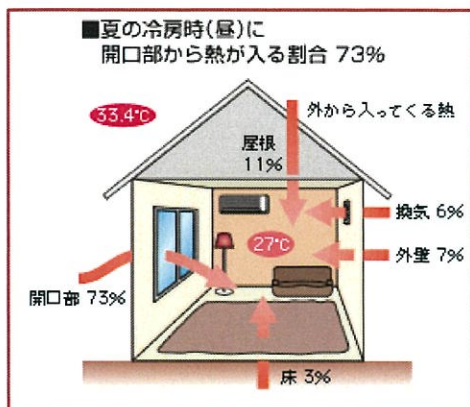
迷ったら、フリーデアにご相談ください。

●早めの暑さ対策が省エネに！！

◆日差しは中からカットより外でカットが効率的

昔ながらの日本の民家は夏の暮らしに重きを置いて建築されていました。

軒の出が大きかったため夏の日差しがしっかり遮られていました。しかし現代の日本の



参考 (一社) 日本建材・住宅設備産業協会資料

住まいではなかなかそのようなスペースを取ることが出来ません。

家の中の熱の出入りでもっとも大きいのは『窓』で、全体の約70%です。

効果の高い暑さ対策は、窓からの日差しのカットや断熱性の強化なのです。

日差しのカットは窓の内側で行うより外側で行うのがより効果的です。

室内にブラインドを付けても6割の熱は室内に入ってきてしまいますが、室外に付けると約9割の熱をカットすることが出来ます。

昔ながらの『よしず』や『すだれ』はとても理にかなったものなのですね。

『すだれ』『よしず』にできる空気層は熱を通しにくいので、室内に熱がこもりません。

霧吹きなどで水をかけると風が冷やされ天然のクーラーになり涼しさも倍増します。

『グリーンカーテン』は緑が美しく効果も絶大です。

夏に活躍してもらうためには5月頃から育てることが必要です。

おすすめは一年性のつる植物です。

春から夏の時期だけ栽培すればよく、毎年違う種類のみどりを楽しむことができます。

(朝顔・夕顔・ニガウリ・ヘチマ・ヒョウタンなど)

フリーデアでも失敗しながら毎年挑戦しています。

去年は西洋あさがおでした。うまくツタが這わせず苦労しました。

お昼過ぎくらいから、きれいな群青色の花が咲き室内からは

きれいな緑が見えて毎年涼ませてくれます。おすすめです!!

